

食品廃棄物リサイクル・「エコろく」野菜の取り組み

株式会社ウオロク 小売業

●取り組みの目的・きっかけ

江戸時代の魚屋発祥の弊社は、販売活動のなかでたくさんの魚のアラが排出されます。魚のアラは焼却処分せずに、分別して有機肥料の原料としてリサイクルすることを第一目標としました。

次に、その肥料を地元の農家に使用していただき、生産された安全・安心で美味しい農産物を販売することで、地域の環境保全型農業を応援することを第二目標としました。

リサイクルループの取り組みは、廃棄物対策だけでなく、農業でも環境対策に貢献でき、さらに消費者にも環境活動への理解を深めていただける「一石三鳥」の取り組みと考えております。

●取り組みの成果

新潟市内では2013年6月より新津店（秋葉区）で取り組みを開始、中野山店（東区）・亀田店（江南区）にも拡大しました。2011年から開始した（柏崎店）この取り組みは、2014年10月、国の3R推進協議会にて「農林水産大臣賞」を受賞しました。

店舗近隣の農家様が生産した「エコろく」野菜は、他の青果物に比べて早めに売り切れるなど、安全・安心のブランドとしてすっかり定着しております。同時に、お客様と生産者様とのコミュニケーションの手段としても役立っています。

食品循環資源リサイクルループの説明



食品循環リサイクルループは、食品廃棄物排出者と肥料製造業者、生産農家の信頼関係構築が重要です。

排出者である弊社は生ゴミ分別を徹底して行うこと、また、肥料製造業者は農作物に利用できる品質の継続製造、生産農家はリサイクル肥料を活用し農作物に最適な利用をすることがそれぞれ大切になります。この三者が相互に信頼関係のもとに連携して初めて、「エコろく」野菜を消費者に安定して提供できるようになります。